

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第81期 (決算日2017年9月20日)

第82期 (決算日2017年10月20日)

第83期 (決算日2017年11月20日)

第84期 (決算日2017年12月20日)

第85期 (決算日2018年1月22日)

第86期 (決算日2018年2月20日)

作成対象期間 (2017年8月22日～2018年2月20日)

第86期末 (2018年2月20日)

基準価額	3,221円
純資産総額	18,551百万円
第81期～第86期	
騰落率	0.1%
分配金(税込み)合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース」は、2018年2月20日に第86期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっておりまして、

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

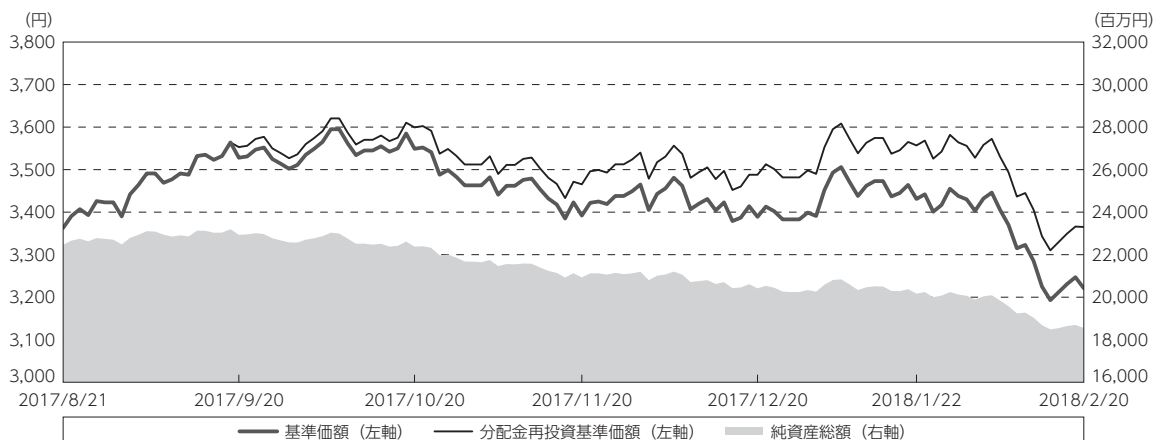
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年8月22日～2018年2月20日)



第81期首：3,363円

第86期末：3,221円 (既払分配金(税込み)：150円)

騰落率：0.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2017年8月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券の利息収入を得たこと。
- ・新興国ハイ・イールド社債を中心に米国国債とのスプレッド(利回り格差)が縮小したこと。

<値下がり要因>

- ・ブラジルリアルが対円で下落したこと。
- ・米国国債の長期金利が上昇(債券価格は下落)したこと。

1万口当たりの費用明細

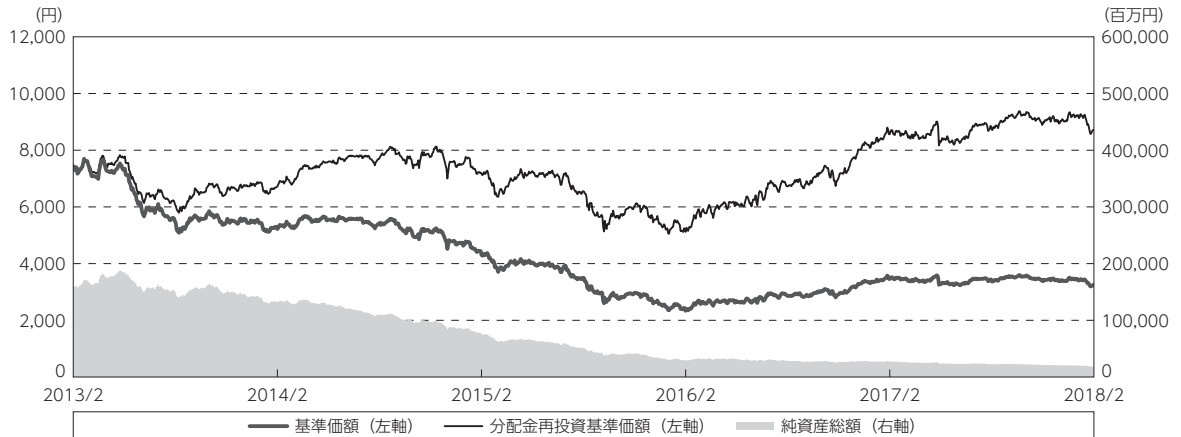
(2017年8月22日～2018年2月20日)

項 目	第81期～第86期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	19 円	0.558 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(6)	(0.162)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.379)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(0)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	19	0.564	
作成期間の平均基準価額は、3,445円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
 (注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年2月20日～2018年2月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年2月20日 決算日	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日	2016年2月22日 決算日	2017年2月20日 決算日	2018年2月20日 決算日
基準価額 (円)	7,417	5,216	4,309	2,335	3,458	3,221
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,530	1,320	900	350	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 9.3	6.7	△ 28.6	67.3	1.7
純資産総額 (百万円)	159,738	131,222	75,485	28,913	27,099	18,551

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2017年8月22日～2018年2月20日)

(債券市況)

期間中、新興国のハイ・イールド社債市場は上昇しました。

米国では、米国連邦準備制度理事会（F R B）が良好な経済状況を背景として2017年3度目となる利上げを12月に実施し、トランプ政権において税制改革法案が可決したことなどを背景に、米国国債金利は年末頃から上昇し始めました。欧州中央銀行（E C B）も2018年の資産買入れ額の減額を2017年10月に発表したことで、グローバルな低金利という長きに亘ってきた潮流の変わり目が認識され始めました。

一方で、数年前と比較すると新興国市場のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）に改善が見られていることや、利回りへの需要と経済状況の好調さから、新興国資産に対する投資家の需要は続きました。そのため、主要金利が上昇する環境下においても、新興国社債市場のリターンはプラスとなり、ハイ・イールド社債が投資適格社債を上回るパフォーマンスとなりました。商品価格の上昇から、素材やエネルギーセクターの銘柄が良好なリターンとなりました。高利回り資産への需要が続いたことを受け、ジャマイカ、カザフスタン、ナイジェリア、ウクライナなどの国の銘柄が相対的に堅調となりました。一方で、金利感応度の高いアジアや中東諸国は相対的に軟調なリターンとなりました。

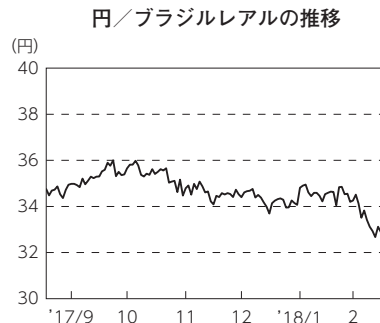
(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.14%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.18%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中におけるブラジルリアル（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2017年8月22日～2018年2月20日)

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「EMサブ | Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(EMサブ | Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス)

当ファンドは、グローバルに堅調な経済成長から恩恵を受けると考え、素材およびエネルギーセクターへの投資比率を特に高める一方で、金融セクターの投資比率を低くしました。国別ではブラジルやロシアの投資比率を高め、イスラエルやインドの投資比率を低くしました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年8月22日～2018年2月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

(2017年8月22日～2018年2月20日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期
	2017年8月22日～ 2017年9月20日	2017年9月21日～ 2017年10月20日	2017年10月21日～ 2017年11月20日	2017年11月21日～ 2017年12月20日	2017年12月21日～ 2018年1月22日	2018年1月23日～ 2018年2月20日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.704%	0.699%	0.732%	0.732%	0.723%	0.770%
当期の収益	13	12	10	11	12	10
当期の収益以外	11	12	14	13	12	14
翌期繰越分配対象額	3,981	3,968	3,954	3,941	3,929	3,914

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「EMサブI Gハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(EMサブI Gハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス)

新興国債券市場に対する中長期的に前向きな見通しを維持しています。先進国および新興国経済の成長は引き続き堅調で、相互に作用しながら勢いを増しています。特に新興国市場では、商品価格の上昇を背景に多くの国が見通しを上回る経済成長を達成する可能性があるかとみています。

金融政策面で新たな時代が幕を開けるとの見方は、新興国市場の変動性を高める可能性があります。そのため勝ち組と負け組を見極めることが重要ですが、新興国社債市場には引き続き多様かつ豊富な投資機会が存在しているとみています。

北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉や米国の対ロシア制裁などの特定のリスク要因は引き続き慎重に見守っていくほか、株式市場や新発債市場における消化不良の兆候にも注視していきます。しかし、これらの要因を全て勘案したうえで、新興国社債市場に対して中長期的に前向きな見方を維持しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

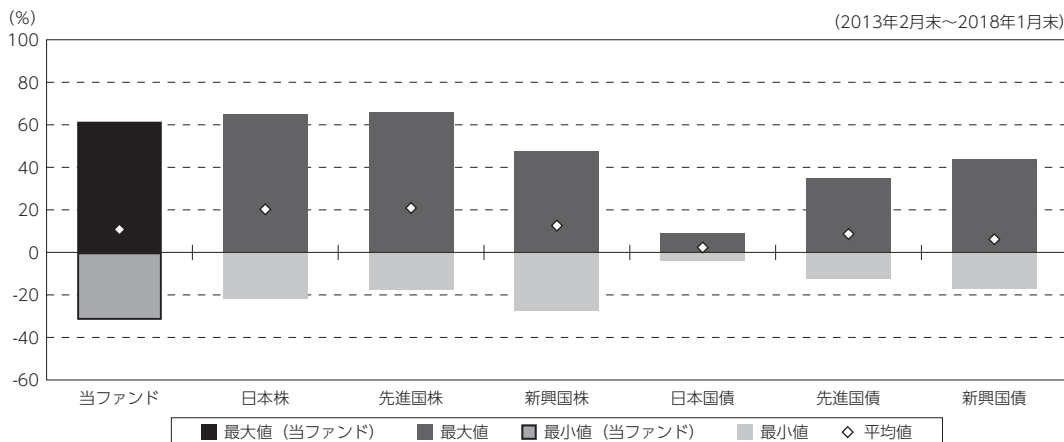
2017年8月22日から2018年2月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年12月9日から2020年8月20日までです。
運用方針	主として、新興国の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「EMサブI Gハイインカム・コーポンド・サブトラスト J P Y ・ B R L クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、エマージング諸国（新興国）の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資対象とする投資信託証券は、30%を上限に新興国の投資適格社債にも投資します。原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行ないます。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	61.5	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 31.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	10.8	20.2	20.9	12.6	2.3	8.7	6.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年2月から2018年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年2月20日現在)

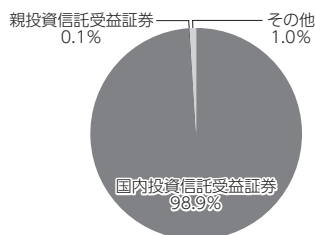
○組入上位ファンド

銘柄名	第86期末
	%
EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス	98.9
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

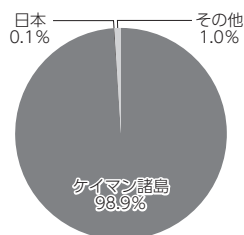
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

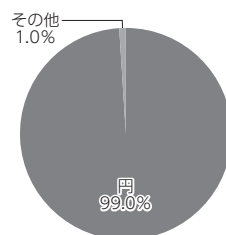
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末
	2017年9月20日	2017年10月20日	2017年11月20日	2017年12月20日	2018年1月22日	2018年2月20日
純資産総額	22,934,671,327円	22,376,759,156円	20,930,319,155円	20,414,833,695円	20,166,758,608円	18,551,015,413円
受益権総口数	65,005,405,427口	63,045,859,354口	61,699,861,655口	60,242,227,110口	58,780,149,545口	57,585,582,015口
1万口当たり基準価額	3,528円	3,549円	3,392円	3,389円	3,431円	3,221円

(注) 当作成期間(第81期~第86期)中における追加設定元本額は541,534,111円、同解約元本額は9,755,311,772円です。

組入上位ファンドの概要

EMサブIGハイインカム・コーポンド・サブトラスト JPY・BRLクラス

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2016年7月1日～2017年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2017年6月30日現在)

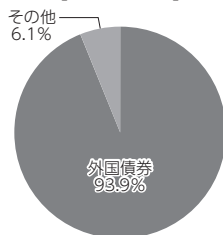
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Banco do Brasil SA, VRB 9.00%	外国債券	アメリカドル	ブラジル	3.3%
2	VTR Finance BV 6.88%	外国債券	アメリカドル	オランダ	3.0%
3	Altice Financing SA 6.63%	外国債券	アメリカドル	ルクセンブルク	2.6%
4	Centrais Eletricas Brasileiras SA 6.88%	外国債券	アメリカドル	ブラジル	2.4%
5	Petrobras Argentina SA 7.38%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	2.3%
6	Kazkommertsbank JSC 5.50%	外国債券	アメリカドル	カザフスタン	2.1%
7	Petrobras Global Finance BV 8.75%	外国債券	アメリカドル	オランダ	2.0%
8	Rio Oil Finance Trust Series 2014-1 9.25%	外国債券	アメリカドル	米国	1.9%
9	VTB Bank PJSC via VTB Eurasia DAC, VRB 9.50%	外国債券	アメリカドル	アイルランド	1.9%
10	Alfa Bank AO Via Alfa Bond Issuance Plc, VRB 8.00%	外国債券	アメリカドル	アイルランド	1.8%
組入銘柄数			108銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

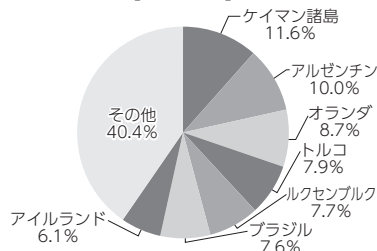
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

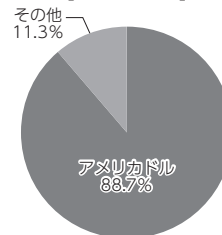
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



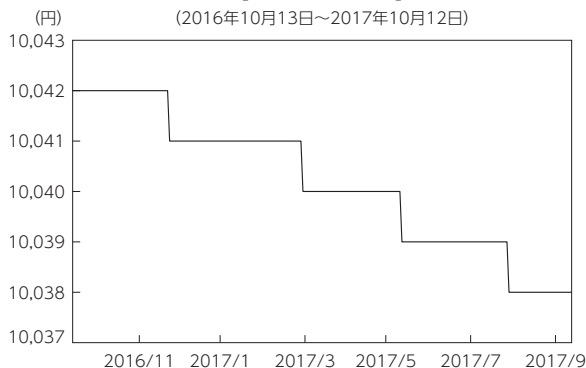
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2016年10月13日～2017年10月12日)



【1万円当たりの費用明細】

(2016年10月13日～2017年10月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,040円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2017年10月12日現在)

2017年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。